

日時 9月26日(月) 18:45~19:57

参加者：(4名)

記録：

研究発表

古山英二「中国の歴史」

PCの音声の不具合で開始が遅れる。レジュメに沿って、中国の歴史、漢民族以外に少数民族が8%いること、溥儀による満州国の傀儡政権、最近の台湾問題までを報告。台湾は2000万人もいる。台湾・香港からカナダ・オーストラリアに移民が多い。台湾には4年間駐在した。

西村晋：(文化学園大学に4月から赴任)：文芸春秋の11月号の中国特集で、西村氏の共産党の組織体制に関する論考が掲載の予定。漢族でも一枚岩ではない。河南省でも回族が10%いた。揚子江と自分がいた中原では文化が異なる。揚子江から龍の文化がきた。中国では習近平の政策に対して、財界から批判が強い。習近平はテクノクラートとは異なる共産党の古い保守派である。不動産問題が今後の大きな課題となるだろう。党大会で任命されるか政権の周囲は心配している。論語は教えられているが、韓非子など法家の思想が現実的な局面では適用されている。性悪説が強い。

青木：台湾は中国にとっては台湾省と呼ばれている。

西村：台湾も、中国を省として扱う。赤・青は許せても、緑は許せない。中国が分裂する気配はない。香港の雨傘運動は中国を挑発しすぎて、無駄な行動となった。中国にも選挙はある。雲南省の少数民族問題は政治化しないが、ウイグル問題はテロ行為があつて警察の警備や検査が厳しい。

望月：バイデンは中国が多民族社会であることをもっと理解すべきである。台湾のアメリカ化がある。今の総統の蔡英文はロンドン大学を出て西洋化している。

青木：中国では皇帝が変遷していて、日本のほうが王朝が続いている。日中戦争のこと。

村山：少数民族が何度も支配し、漢民族として王朝が継続したわけでない。死刑の多さ。

今後の予定 (毎月第4月曜日)

令和4年(2022年度)

10月31日(月)第5月曜日 18:00~20:00

村山元理「ステークホルダーとしての神一天理教の経営観」(経営学史学会にて投稿中)

11月28日(月) 18:00~20:00

12月19日(月)第3月曜日 18:00~20:00